

運動方針に關する予一セ

世界資本主義の形勢と労働階級の統一戦線

我口に於ける資本攻勢と労働階級の共同戦線

今後の運動方針

- 一、集約的組織の充實
- 二、未組織労働者の組織運動
- 三、工場委員會運動
- 四、争議の方策
- 五、教育方針の確立
- 六、政治運動
- 七、労働組合の統一運動

予一セ (草案)

本部提出

世界資本主義の形勢と労働階級の統一戦線

一九二〇年一月に米口に端を發し、爾後僅かに八ヶ月にして全世界に蔓延した恐慌は、世界資本主義を脅かして、恢復すべからざる没落の過程に引込んだ。この戦後の大恐慌は既往の一切の恐慌と完全に區別されなければならぬ。それは資本主義固有の経済的需調整の最大の累積である許りでなく、既往の恐慌の有したるが如き恢復力は、五ヶ年に亘る大戦よりも、中に完く消費され、衰餘の資本主義が飛翔の新天地として求むるを常とした可処也。適地は既にして占有し、荒廢し盡され、欧州諸口の大戦による生産の破壊は一切の購買力を失はしめ、剩へシエルサン工條約の最大とする戦時中及び戦後の政治的需調整は、一切の恢復を一層不可能にした。かくて、短期にして大録なる戦前の恐慌を健康人の一時的不快に比すれば、戦後の恐慌は、